

国民栄誉賞

国民栄誉賞の授与式記念品の金のバットを贈呈された長嶋茂雄氏(右)と、手を添える松井秀喜氏。2013年5月、東京ドーム(代表撮影)



盟友談笑

オールスターの試合前に談笑するダイエー・王貞治監督(左)と巨人・長嶋茂雄監督。＝2000年7月、東京ドーム



長嶋伝説は永久に不滅

「ミスタージャイアンツ」長嶋茂雄氏は選手、監督として本県にも深い縁がある。7年から7年間で、自主トレの拠点としたのが現在の伊豆の国市大仁地区。「山ごもり」と

も称されたオフの猛練習は引退前年の73年まで続けられた。日課として走った狩野川河川敷から登頂していた城山までの道は「長嶋茂雄ランニングロード」として残り、数々のミスター伝説を今に伝えている。

監督5シーズン目の79年オフ、5位に低迷したチームの再建の地に選ばれたのが伊東市だった。有望な若手を徹底的に鍛えた日本球界史上43年ぶりの秋季キャンプは、「地獄の

伊東キャンプ」として語り継がれる。長嶋氏は翌年3位で監督を辞任したが、キャンプに参加した江川卓氏、中畑清氏らが主力となり、81年にV9以来の日本一を奪還した。



後進指導

巨人キャンプで、バットを手に岡本を指導する長嶋茂雄氏。＝2016年2月、宮崎

大仁自主トレなど県内にゆかり



ランニングロード

「長嶋茂雄ランニングロード」の記念碑を見学に来た長嶋茂雄氏。＝2016年5月、伊豆の国市の狩野川堤防



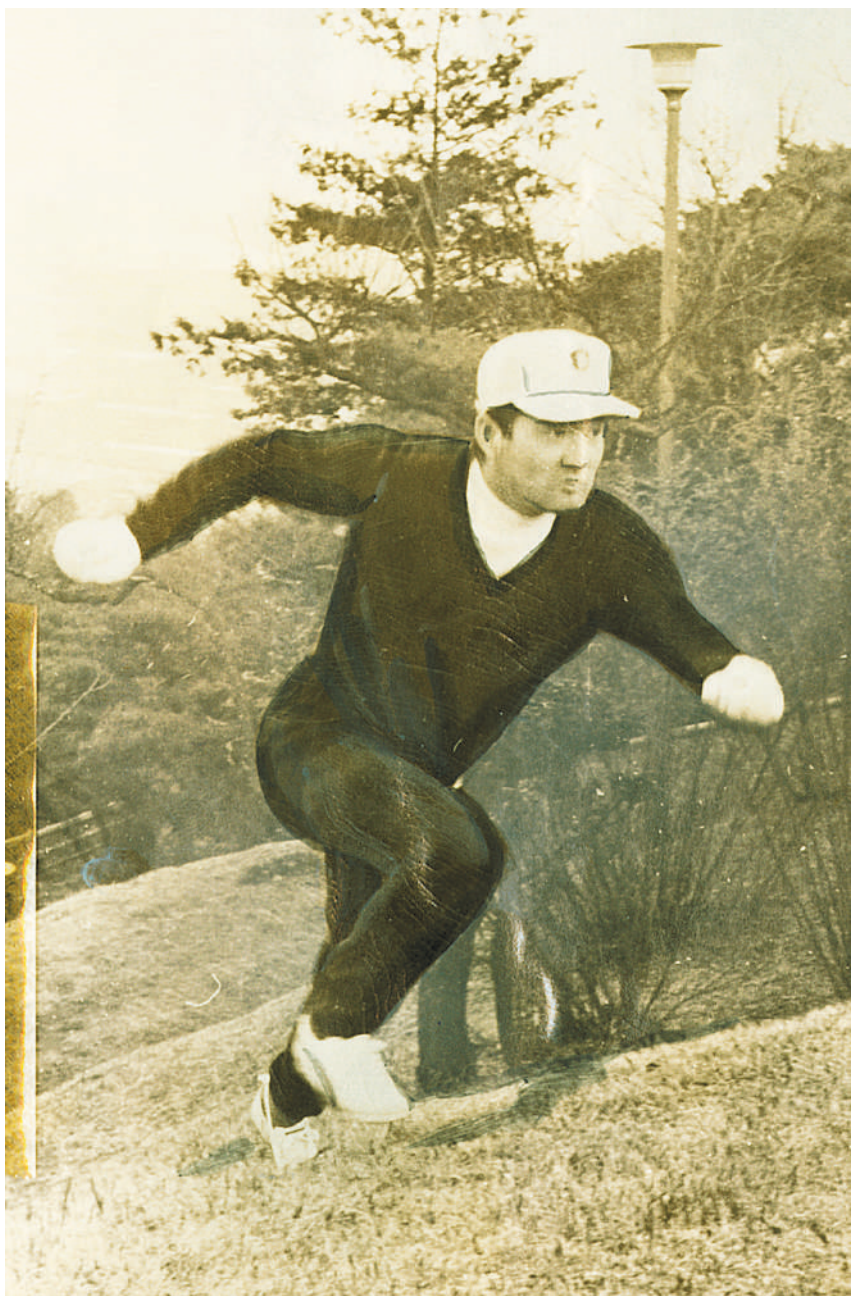
富士山御来光

東京写真記者協会の報道写真展で静岡新聞社の「富士山御来光」を見る長嶋茂雄氏。＝2013年12月、都内



日本一の胴上げ

巨人が6年ぶりの日本一を達成し、胴上げされる長嶋茂雄監督。＝2000年10月、東京ドーム



山ごもり

大仁での「山ごもり」で自主トレーニングに励む長嶋茂雄選手。＝1973年1月



「90番」語る

「江川契約問題」について話す巨人の長嶋茂雄監督。＝1997年11月、草薙球場